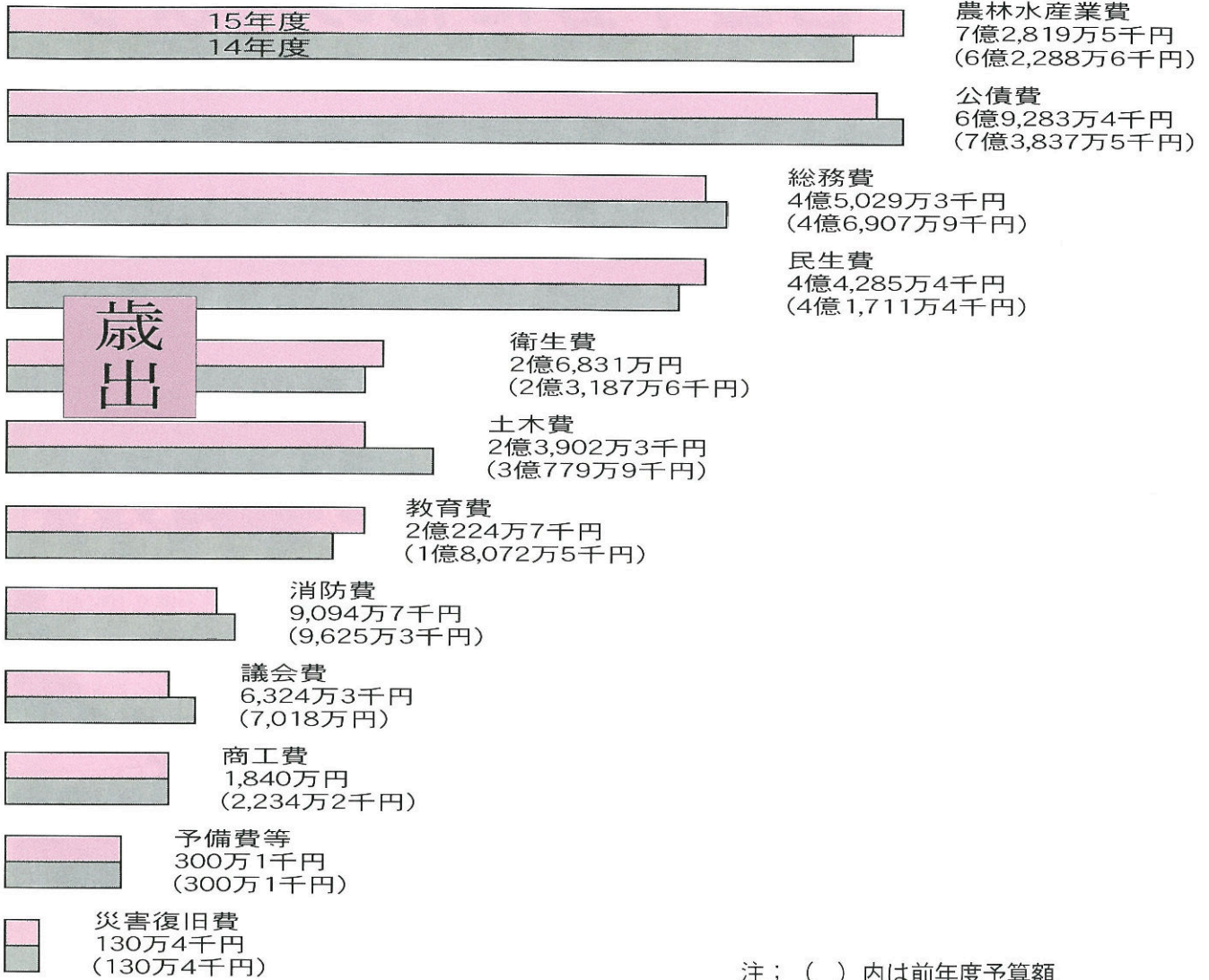


一般会計総額

32億65万1千円 (対前年度比 1.3%増)



注； () 内は前年度予算額

十五年度予算編成を終えて



日置町長

江原 清

わが国経済は、バブル崩壊後、今なお先の見えない不況下に陥っており、最早、右肩上がりの成長の時代は遠い過去のものとなり、国の税収は減少の一途を辿っているところでありまして、加えて、経済対策の名のもとに起債(借金)を財源とした公共投資が重ねられてきた結果として、平成十四年度末における長期債務残高は、国と地方を合わせて七百五兆円にもなっており、その償還は今後の財政運営において多大な負担となっておりま。

このような今日の国・地方を通ずる未曾有の財政危機は、とりわけその多くを依存財源に頼んでおります本町の懐を直撃し、時代に即応した政策課題の積極的な展開をはかるうえで大きな足かせとなっておりまが、圏域一市三町の合併論議が本格化している中、本町がこれまで積み重ねてきた発展基盤を更に継承し、長門圏域の主要な担い手として、これからも大いに存在感を発揮できるよう努めて参らなければならぬと存じます。

新年度は、大型の継続事業であります情報基盤整備事業、及び北部地区農業集落排水事業の計画的な推進を基本とし、尚かつ新規施策につきましても、優先度、重点化に十分意を払い、財源対策を講じながら、斎場火葬炉の全面改修、日置小学校屋外便所の改築と下水道工事、町道改良では古市上・龜山線、千畳敷・野田線等に